

基礎調査について（案）

1 基礎調査の概要

本市の効率的効果的な家庭ごみ収集方式のあり方について検討を行うため、次の基礎調査を実施します。

調査	目的	手法等
自治会長アンケート	<p>自治会長が把握できている範囲で次の内容を把握することを目的に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭ごみ収集に係る地域の課題の把握 ・ 地域ごとに戸別収集を導入する際の意見集約可能性・課題把握 ・ 現行のふれあい収集で対応できていない世帯等の有無 ・ その他、地域のごみステーションの課題やニーズ等の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の自治会長に対しアンケート調査を実施 (約 360 自治会長・約 20 連自治会長を対象に実施) ・ 必要に応じてヒアリング等を追加実施
他都市事例調査	<p>次のような自治体を対象に、検討過程、実施上の課題や対応方法を把握することを目的に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一部戸別収集導入自治体 ・ 先進的なふれあい収集実施自治体（障がい者、妊婦、単身女性、傷病者、介護の必要性の程度が要介護2よりも低い方等、ごみ出しが困難な方を広く対象としている自治体) ・ その他、ごみステーションの課題に取り組む自治体等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治体へのヒアリング (電話・訪問、合計5自治体程度を予定)

2 調査内容

(1) 自治会長アンケート

①調査方法

自治会長・連合自治会長を対象に質問紙を送付、郵送返送により回収

②調査項目

区分	調査項目
地域のごみ出し全般について	<ul style="list-style-type: none">・ 地域内のごみ出しルールの順守状況・ 集団回収の取組み状況
戸別収集について	<ul style="list-style-type: none">・ 戸別収集の意向（要不要）・ 戸別収集が必要な場合の理由・ 費用負担のあり方・ 自治会単位で戸別収集導入可否を決定する際の住民意見の集約方法や課題
地域のステーションの課題等について	<ul style="list-style-type: none">・ ごみステーション管理の状況・ ごみステーションが遠い等、現状で困っている点や地域におけるごみステーションに対するニーズ等
ふれあい収集の充実について	<ul style="list-style-type: none">・ 現行のふれあい収集サービスの対象世帯基準に当てはまらないがごみ出し支援が必要と思われる世帯等の有無（把握できている範囲で）・ 高齢者等のごみ出し困難者のごみ出し支援を地域で協力して行うことができそうかどうか・ もえるごみ以外の福祉収集の必要性について
その他	<ul style="list-style-type: none">・ 地域の課題を話し合う場の有無（自治会の役員会などの開催状況等）・ ヒアリング調査への対応可否・ 実証実験への希望等

(2) 他都市事例調査

①調査方法

文献調査から先進的な取組を行う他都市を抽出し、電話・訪問によりヒアリング調査を実施

②調査対象

（今後、選定予定）

以上